

ユニオンファンド 月次レポート

第 115 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2018年6月6日作成

MONTHLY TOPIC

新興国はピンチなの？

足元はイタリアの政治混乱が市場の大きな関心事となっていますが、直前までは、アルゼンチン、トルコ、ベネズエラといった新興諸国の市況悪化に世界の市場関係者の目はくぎ付けでした。ユニオンファンドも影響を受けており、不安を感じておられる方もいらっしゃるかもしれません。しかしそれほど危ない状況なのでしょうか？

新興国にとっては、確かに苦手な局面

新興国の不調には、以下のとおり理由がいくつかあります。

- ① 米国の金利上昇を受けて新興国から資金が引き揚げられるとの警戒感…先回りで通貨を売る投資家が増加
- ② 経常赤字が大きく対外債務を大量に抱えた国を中心に、金利高とドル高で債務の返済が困難になるとの懸念
- ③ 今年に入ってからの世界経済の成長減速に加え、米国の保護主義的政策によって輸出が鈍化すると懸念

中でも米国の金利上昇は、これまで幾度も新興国危機の発端となってきたため、米国の利上げ加速観測を背景に改めて慎重な見方が増えてきたようです。

このまま悪化が続くとは思えません

まず米国の金利ですが、景気が堅調であることから、政策金利の引き上げはしばらく続きそうです。ただ、そのピッチは一時懸念されていたほど速くはなく、緩やかな利上げで済むだろうとの見方が再び優勢になりつつあります。そもそも、永遠に利上げが続くわけではなく、いつかは打ち止めとなるはずです。

貿易摩擦についても、悪影響が皆無とは到底言えませんが、世界経済がどん底に落ち込んでいくほどかと言えば、それはないでしょう。「うちにはないモノは他人から買い、他人が欲しがっているモノは売ってあげる」という市場経済の役割が不要になったとは思えませんから、人類が貿易の便利さを捨て去ることはないはずですよ。

世の中には完璧な国も完璧な企業もありません。どこだって何がしかの問題や弱点を抱えているものです。そこだけに着目し、経済状態が全体としては良好な国まで売ってしまうというのは、疑心暗鬼のなせる業です。市場では、このような市場の下落を「連れ安」と呼びます。そうした用語があるくらい実によくある話なのです。

「良い時に浮かれず、悪い時には落ち込まず」。これが長期で財産づくりをするためにとても大事な心構えです。世界経済の長期的な成長と、新興国のより高い成長が予想される限り、連れ安局面は優れた企業を買い増しする好機だ、というのが私の考えです。「ピンチはチャンス」と言われますが、そのとおりだと思います。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2018年5月末現在)

基準価額

24,197 円

純資産総額

60 億 47 百万円

期間別騰落率(%)

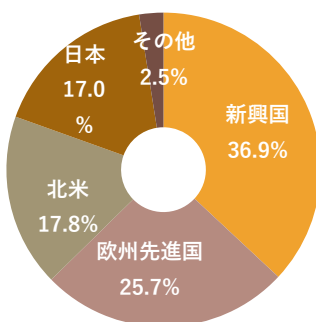
1 ヶ月	-2.99%
6 ヶ月	-6.06%
1 年	2.35%
3 年	5.14%
5 年	39.55%
設定来	141.97%

複利年率(%)

9.62%

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2018年4月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	7.2%	-2.8%
スパークス F	日本	7.5%	-2.3%
キャピタル F	欧米	14.2%	0.2%
ハリス F	欧米	21.4%	-3.7%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	6.2%	2.4%
コムジェスト・エマージング F	新興国	36.2%	-5.3%
現金等	-	7.4%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2018 年 5 月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

5 月の株式市場は、米国では事前予想を上回る決算が多かったこと、また、欧州では懸念されていた輸出競争力が通貨ユーロの値下がりや回復に向かうとの期待が広がったことなどから、特に前半は回復傾向で推移しました。ただ、新興国は、米ドルの上昇傾向が続いたことから資金流出が続く、冴えない動きとなりました。一部ではインフレの悪化や外貨準備の枯渇などが警戒されて通貨が急落する市場もあり、新興国全般の売り圧力を高めました。

月の後半は、イタリアの政治混迷で株式市場が一時的に大きく崩れる場面がありました。イタリアでは 3 月に総選挙が行われましたが、過半数を握る政党がなかったため、連立政権樹立を巡って政策協議が進められてきました。5 月に入り、反 EU（欧州連合）と反移民をそれぞれ掲げる二つの政党が新政権を担う方向となり、その政策草案にユーロ圏からの離脱を示す内容が含まれていたことから、市場に動揺が走ったわけです。

多額の財政赤字を抱えるイタリアで国債売りが進む一方、為替市場ではユーロが大きく値下がりしました。欧州では景気減速傾向が見られ、物価も上昇が鈍ってきていることから、ECB（欧州中央銀行）の金融政策転換（量的緩和の終了）が先送りされるとの観測も出ていました。このため、ユーロはやや軟調に推移していましたが、イタリアの混乱がダメ押し的な売りを誘った格好となりました。

一方、新興国株は、P1 で述べたような売り要因を引き続き抱えているうえに、欧州の市況悪化が波及したことから、前月比でマイナスとなる弱い動きに終わりました。

こうした中、組入ファンドは総じて軟調で、キャピタル F とコムジェスト EU F 以外は値下がりしました。中でもコムジェスト EM F の大幅な下落が響き、ユニオン F の基準価額は市場全体を超える値下がりとなりました。

運用の状況

市況の悪化局面でコムジェスト EM F の買い増しを行いました。月末時点の組入比率は全体で 92.6%と、4 月末より若干上昇しています。

今後の見通しと運用方針

P1 でも触れましたが、ユニオンファンドにとって最も重要とも言える新興国市場が不振です。また、新興国に投資しているコムジェスト EM F も、投資先企業の予想外の業績悪化や汚職の疑いといった個別銘柄要因のほか、市場より多めに投資していたブラジルや南アフリカの為替・株価の不調など、いくつかのマイナス要因が重なり、3 ヶ月連続で市場の動きをやや大きく下回っています。

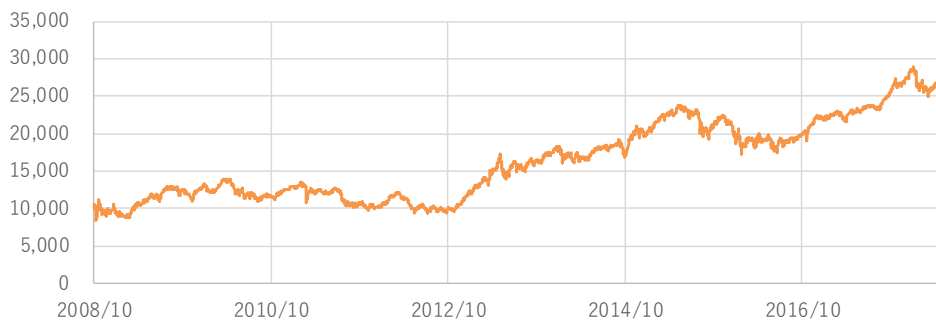
市場の軟調場面での不振は、このファンドとしては非常に珍しいことです。背景を十分に把握するため、日本在住の担当者をはじめフランス本社ファンドマネージャーたちとも、面談を含め情報交換を行っています。今のところ偶然が重なったためと思われ、根本的な問題は見当たりませんので、引き続き注意深くリサーチを行いながら、軟調場面では買い増しを行っていく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



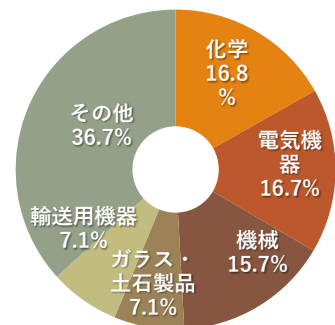
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.4%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 プリチストン	4.1%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3 花王	4.1%	日本	化学	トイレットペーパー首位
4 TOTO	3.6%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
5 ダイキン工業	3.4%	日本	機械	エアコン世界首位
6 浜松ホトニクス	3.3%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
7 テルモ	3.0%	日本	精密機器	医療機器（カテーテル）
8 信越化学工業	2.9%	日本	化学	塩化ビニル・シリコンエポキシ樹脂世界大手
9 国際石油開発帝石	2.6%	日本	鉱業	石油メジャー
10 トヨタ自動車	2.5%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
上位10銘柄	34.7%		現金等	10.3%

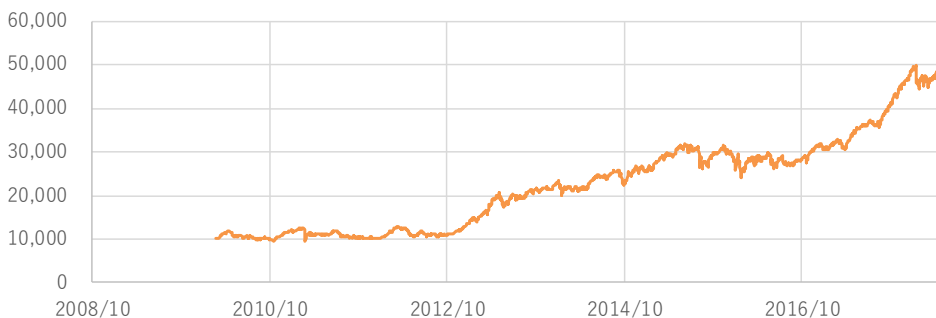
業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年5月末現在>

スパークスF（スパークス・集中投資・日本株ファンドS）

基準価額の推移



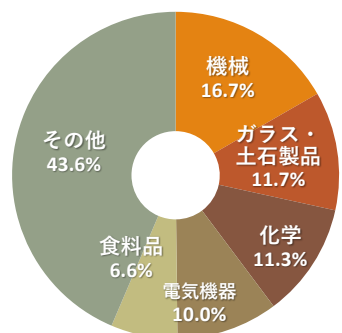
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10（マザーファンド）※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ビックカメラ	—	日本	小売業	大手家電量販店
MARUWA	—	日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業	—	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
日精エー・エス・ビー機械	—	日本	機械	プラスチック容器成形機・金型メーカー
オルガノ	—	日本	機械	水処理装置大手
山洋電気	—	日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
フェローテックホールディングス	—	日本	電気機器	半導体等の装置材料・部品メーカー
エフピコ	—	日本	化学	食品トレなど容器の大手
阪和興業	—	日本	卸売業	鉄鋼などの商社
トーセイ	—	日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等				5.1%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分（現金等を除く）に占める比率 <2018年4月末現在>

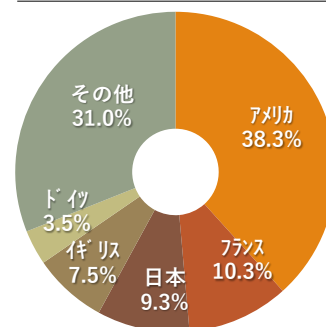
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



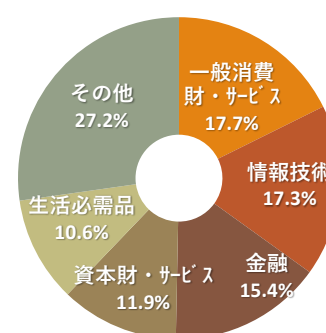
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Airbus	2.0%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
2 Pernod Ricard	1.8%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
3 ASML	1.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 Enel	1.6%	イタリア	公益	国内最大の電力会社
5 Vale	1.6%	ブラジル	素材	鉄鉱石などの総合資源開発会社
6 Alphabet	1.5%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
7 AIA	1.5%	香港	金融	生保・金融サービス
8 LVMH	1.3%	フランス	一般消費財・サービス	高級飲料・衣料・化粧品の世界大手
9 Microsoft	1.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
10 GoDaddy	1.3%	アメリカ	情報技術	ドメイン登録、レンタルサーバ
上位10銘柄	15.7%		現金等	3.7%

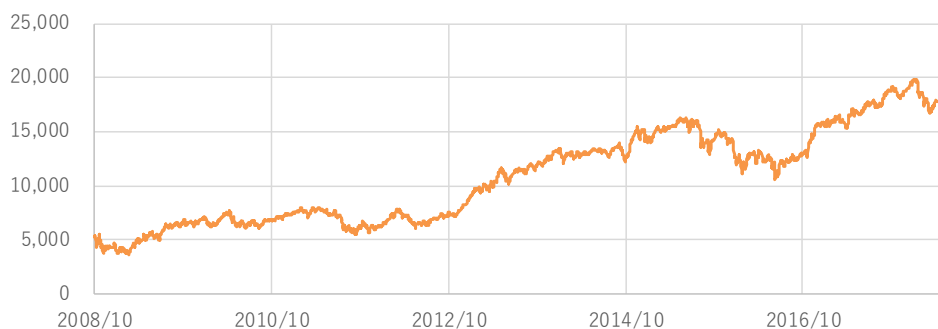
業種別構成比



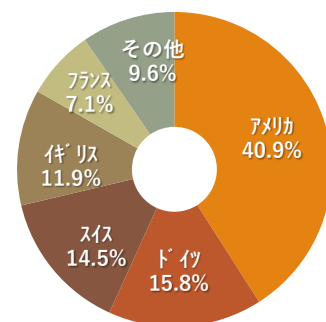
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年4月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額(分配金込み)の推移



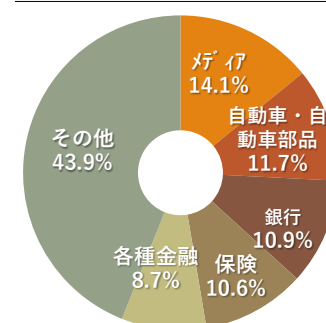
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	5.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 DAIMLER	4.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
3 ALLIANZ	4.9%	ドイツ	保険	総合保険大手
4 GLENCORE	4.0%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
5 CREDIT SUISSE	3.8%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
6 CNH INDUSTRIAL	3.6%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
7 HCA HEALTHCARE	3.4%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	米最大の病院経営会社
8 GENERAL MOTORS	3.3%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角
9 LAFARGEHOLCIM	3.1%	スイス	素材	セメント世界一
10 ALPHABET	3.1%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	グーグルの持ち株会社
上位10銘柄	39.3%		現金等	5.1%

業種別構成比(マザーファンド)

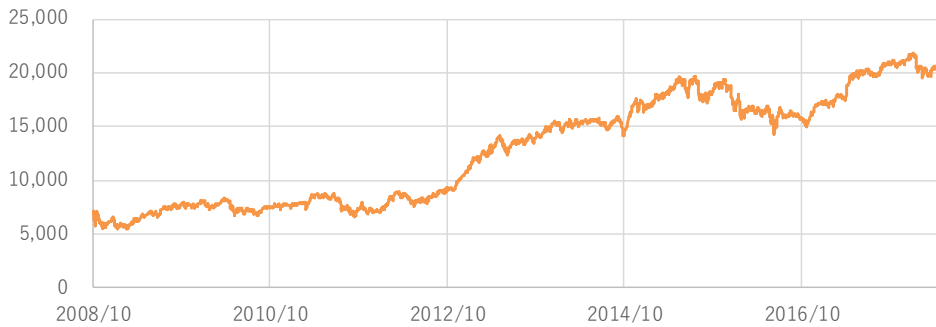


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年4月末現在>

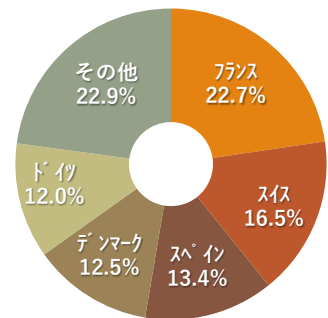
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA)

基準価額の推移



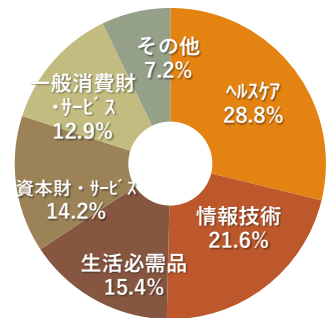
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 AMADEUS	6.4%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
2 INDITEX	6.2%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
3 ESSILOR	4.9%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 COLOPLAST-B	4.8%	デンマーク	ヘルスケア	人工肛門世界大手
5 SARTORIUS STEDIM	3.9%	フランス	ヘルスケア	ウイルス除去フィルター
6 ASSA ABLOY	3.6%	スウェーデン	資本財・サービス	鍵等のセキュリティシステム世界大手
7 CHRISTIAN HANSEN	3.5%	デンマーク	素材	乳酸菌、酵素製剤
8 NOVO NORDISK	3.4%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
9 SAP	3.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
10 DASSAULT SYSTEMES	3.3%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフト会社
上位10銘柄	43.3%		現金等	6.6%

業種別構成比(マザーファンド)



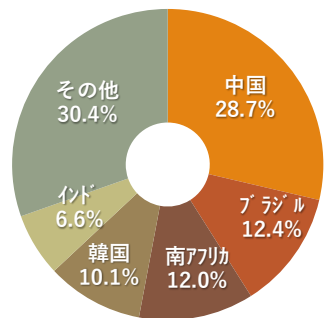
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年5月末現在>

コムジェスト・エマージングF (ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA)

基準価額の推移



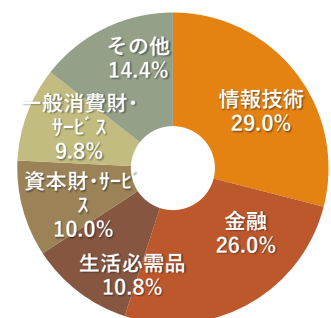
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	5.5%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 CHINA LIFE	4.6%	中国	金融	生保国内最大手
3 COGNIZANT TECHNOLOGY	4.5%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
4 PING AN INSURANCE	4.2%	中国	金融	保険大手
5 SAIC MOTOR	3.9%	中国	一般消費財・サービス	国内大手自動車メーカー
6 BAIDU ADR	3.8%	中国	情報技術	検索エンジン世界2位
7 MTN	3.7%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話
8 SAMSUNG LIFE	3.5%	韓国	金融	生保
9 SANLAM	3.5%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
10 NETEASE ADR	3.2%	中国	情報技術	オンラインゲーム
上位10銘柄	40.5%		現金等	4.0%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2018年5月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

退任のご挨拶

この度、2018年6月19日をもって代表取締役を退任することと致しました。

2期4年間の短い期間ではありましたが、業務に従事することができたのもファンド仲間、ユニオン投信メンバー、全ての関係者の皆様のお蔭です。この場を借りてお礼申しあげます。

ユニオン投信は、「働く仲間とその家族のため」という理念のもと「つみたて投資」を中心に資産形成していく仲間を広げていくことと思います。

私は、これからも「すべての人々が自分らしく生きていける社会の構築に貢献する」という自分軸のもと、「投資&スポーツ&地域」でアホになって人間臭く行動していきます。

仲木 威雄

※ 2018年6月19日付で新代表取締役役に久保田徹郎（現：運用部長）が就任する予定です。

新代表取締役からのご挨拶は就任後次号にて掲載させていただきます。

業務管理部からのお知らせ

目論見書の改訂について

2018年6月29日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

「ユニオンファンド」のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料	お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。 ※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。
換 金 手 数 料	ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
信 託 財 産 留 保 金	信託財産留保金はあります。
信 託 報 酬	純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。 毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。 [*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)] * 『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。 目安であり、組入状況により変動します。
そ の 他 の 費 用	上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。 ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます) ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます) ※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。